

平成 1 9 年度財団法人紀南環境整備公社
第 4 回評議員会

財団法人紀南環境整備公社

平成19年度財団法人紀南環境整備公社 第4回評議員会議事録

- 1 開催の日時
平成20年3月8日（土） 午後3時00分
- 2 開催の場所
新宮市春日1番35号
新宮地域職業訓練センター 1階 大教室
- 3 出席者
別紙出席者名簿のとおり
- 4 議事
公社事業の今後の進め方について
- 5 会議開会
別紙出席者名簿のとおり評議員が出席したので、会議を開催した。
引き続き事務局から議長選出について各評議員に諮ったところ、事務局一任の声があり、事務局から奥田評議員を議長指名し、奥田評議員が議長に就任した。
次に代理出席者の承認について諮ったところ、異議なく承認され、出席者は定足数を満たしていることから、議長が会議の成立を宣言した。
- 6 議事録署名人選任
議長から議事録署名人の選任について提案し、議長指名について諮ったところ、全員異議なく、議長から植田評議員、橋本評議員を指名したところ、全員異議なく選出された。
- 7 議 事
公社事業の今後の進め方について
奥田議長「本日は「公社事業の進め方について」協議いただくことになっている。このことについては、本日、評議員会に先立って開催された理事会において協議され、さきほど理事長の挨拶の中でもご報告いただいた。事務局の方から今回の協議事項に至る経緯について説明をお願いします。」
松原事務局長「前回12月2日に田辺市のビッグユーで理事会・評議員会合同会議を開催した。公社事業が停滞する中で公社の解散、あるいは再構築といった意見がある中で、再度各市町村が議会及び産業界と十分協議して事業を今後どう進めるのか協議したが、その場では中々結論に至らず再度、産業界は産業界、首長は首長で協議して、また、理事会・評議員会は合同でなくて分けて協議しようという事の中で、再度次回の会議までに串本町に一定の判断の意見集約をお願いしていた。これを受けて産業界あるいは首長がそれぞれ集まり色々な意見を伺っていた訳だが、1月24日に非公開で役員の会合を行った。ただ、その中でも意見がまとまらず、今後停滞している公社事業についてどうするのか、結論に至らなかった。再度、串本町長にどうされるのか最終判断を2月末までをお願いしていた訳だが、理事長の挨拶にもあった様に3

月1日に松原理事から直接真砂理事長に回答があり今日の会議となっている。」

奥田議長「只今、事務局の方から説明いただいた。本日の評議員会に松原理事が出席されているので、松原理事から説明をいただきたいと思うが、よろしいか。」

〔「意義なし」の声あり〕

松原理事「只今、議長及び真砂理事長からお話がありました様に先ほど行われた理事会、また、それに先立つ3月1日に田辺市役所を訪れ、2月末までに串本町の態度決定をという要請を受けていたので、それに対して「調査を受け入れる」との回答を申し上げた。今、理事長からもお話があった様に選考過程における反省点また、今後の現地調査に当たって十分この地域の状況を配慮いただきたいと、串本町では、世界に登録をさせていただいているラムサール条約の海域がすぐ近くに位置するという所に候補地に選定されている関係を今日までの理事会・評議員会の場で申し上げてきたところであるが、他の田辺市内の3候補地にも飲料水等の色々な問題があるという事とかねあわせまして、最終選定に当たっては配慮いただきたいという事を注文というか配慮をお願いしたいという事を付して、広域の一員として処分場の必要性、現在おかれている各関係市町村の状況等々総合的に勘案して最終決断をした。ある意味これがスタートという事で地元には私も串本町におきましては、ラムサールの海を守る会の皆様方の思いがまだまだ十分発信しきれていないという事で、あくまでもラムサールの海については引き続きこういう状況ですから、地元の町長としては出来る限りの機会を捉えて、理事会・評議員会の皆様方のご協力を得ながら十分説明をしていきたいと思っているので、よろしく願います。

なお、一点だけ時間をいただいて申し述べたい事がある。3月1日に真砂理事長に報告した後の記者会見の中で、私が一時地元の反対を支持するという事から今回の調査受け入れという形に転換をした根拠として、紀伊民報の報道に3点ばかり根拠を述べた。1点2点については、事実であるという事でご理解をいただいたところであるが、3点目について、いわゆる私の思い込みというか期待感を含めての個人の印象であってラムサールの海を守る会の皆様方の真意ではないという事を発言者である町長から十分その点を訂正をして欲しい。という話を昨夜ラムサールの海を守る会の代表20名と意見交換をした場で約束をした点であるので、先ほど新聞記者の方々に寄っていただいてプレスしたところなので新聞報道等で詳らかになると思うが、最終判断には今のところ変更はないが、そう言った事があったという事を述べさせていただいて、私の方からの意見発表に変えさせていただく。」

奥田議長「今、松原理事から経過報告等の説明をいただき、先ほどの事務局の説明と併せて何か質問等あればお受けしたいと思う。」

奥田議長「特にない様なので、次に移らせていただく。次の議題について、今後のスケジュールについてどう考えているのか。事務局から説明をお願いします。」

松原事務局長「当初の計画では、平成18年度中に現地調査を終えて平成22年度中には受け入れ開始するという計画であった。しかしながら、平成18年度中に候補地の現地調査の同意が中々得られずに最終候補地決定には至らなかった。昨年3月の理事会・評議員会合同会議で事業が約2年程遅れるとの報告を申し上げた。しかし、その際に少し時間がかかりすぎではないか。もう少し早く出来ないのか。という要望もあったので、平成19年度中に最終候補地決定に向けて事業を進めてきたが、状況は皆さんご存じの様に中々進まず停滞し、公社の解散、再構築という事態にもなっていた。しかし一方では、地域内の最終処分場に関しては、自治体の最終処分場の埋立終了期間の問題であるとか、他府県依存における処理費の高騰、あるいは受け入れ先の地元の厳しい状況、また、産業振興上からも早急に地域内に最終処分場の整備を目

指したい考えに変わりはない。松原理事からの回答をいただき事務局としては出来るだけ早く候補地を持った自治体と十分協議・調整しながら候補地の皆様方にご理解を得られる様に努力をしていきたい。しかしながら、出来れば早期に調査をお願いし、調査期間も1年程かかるので平成21年度早々にも最終候補地の決定に向けて進めていきたいと考えている。ただ、候補地のある両自治体にだけ任せるのではなくて、以前からもお願いしている様に皆様方にも公社の一員として事業推進のためにも色んなご協力をいただきたいと考えている。事務局としては、引き続き地域住民の方にごみ処理の状況や公社事業の理解をいただける様に説明会も積極的に行っていきたいと考えているので、ご協力をよろしく願います。」

奥田議長「事務局からの説明を受けて質問・意見はないか。」

奥田議長「それでは、質問・意見がない様なので、今後も引き続き現体制で公社事業を進めていくと言うこと、事業の遅れを公社が一体となって取り戻すべく取り組むことを評議員会の総意としてとりまとめてよろしいか。」

〔「異議なし」の声あり〕

奥田議長「事務局から説明のあった今後のスケジュールと今日お話いただいた事を評議員会の総意としてとりまとめます。それでは、理事長、今後とも事業の実施についてよろしく願います。」

その他、何かないか。事務局からも何かないか。」

松原事務局長「3月27日に田辺市のビッグ・ユーで新年度収支予算・事業計画について審議していただく、理事会・評議員会合同会議を開催する。また、役員の改正もありますので、出席のほどよろしく願います。」

奥田議長「事務局から3月27日の理事会・評議員会合同会議の話がありましたので、皆さんよろしく願います。」

これで本日の協議すべき事項は終了したので、議長の任務を終了させていただく。」


以上をもって、議長は閉会を宣言した。

午後15時20分


以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、次のとおり署名押印する。

平成20年3月8日

議長

奥田 貢 

署名人

橋本 明彦 

署名人

植田 英明 

平成19年度財団法人紀南環境整備公社第4回評議員会出席者名簿

○評議員現在数19名

○出席評議員数19名（うち代理出席者（委任表決者）4名）

氏名	役職名	代理出席者等
生熊 和道	古座商工会会長	
泉 庄治	本宮町商工会会長	
岩手 仁士	龍神村商工会会長	
植田 英明	みなべ町商工会会長	
大和田隆栄	北山村商工会会長	経営指導員 藪本 英明
岡本 重之	白浜町商工会会長	
奥田 貢	北山村長	
奥根 公平	古座川町長	
黒田 庫司	牟婁商工会会長	
三軒 一高	太地町長	住民福祉課企画員 庄司 保和
須賀 節夫	串本町商工会会長	
立谷 誠一	白浜町長	副町長 廣畑 實
辻 良治	熊野川町商工会会長	副会長 玉置 勝視
出水 豊数	中辺路町商工会会長	
富田 又嗣	古座川町商工会会長	
長井 保夫	上富田町商工会会長	
橋本 明彦	すさみ町長	
花本 健	大塔村商工会会長	
森 光夫	すさみ町商工会会長	